

外国人生徒と日本人生徒の背景知識の違い —国語教科書の文章理解に関する背景知識を例に—

志村ゆかり

要旨

文章理解を行う際に、私たちは本文に書かれている情報だけではなく、それまでの経験や伝聞で得た情報など記憶にある様々な知識を駆使して理解しようと努める。

本稿では、経験や伝聞を通して得た、本文の理解に用いる外部情報を背景知識と定義し、外国人生徒が持っている背景知識と日本人生徒が持っている背景知識の違いを分析した。その結果、背景知識で違いが生じるのは、文化的、社会通念に関わる事柄が多いことがわかった。また昨今のメディア媒体の発達により、テレビやインターネットで目にする事柄は共通認識が得られやすい傾向が見られた。

キーワード：外国人生徒 読解 背景知識 第一言語 出身国

1. はじめに

私たちの調査（稿末の付記を参照）は、日本の公立中学校に通う外国人生徒が、国語科の授業の文章理解においてどのような困難点を抱えているかを分析するために行なったものである。調査の結果、明らかになりつつある興味深い点は、日本語の語学力だけでなく、読み手が経験や伝聞などを通して得た、文章理解に用いる外部情報、すなわち背景知識の不足が原因で文章理解が進まないことがしばしば見られるという点である。そこで、本稿では、具体的にどのような背景知識が外国人生徒にとって問題になるかを報告する。

まず、国語科の教師はどのような視点でどのような授業をしているのかを知るために、教師への事前調査を行なった。調査はインタビュー形式で、ある公立中学校の国語科教師3名を対象に、国語科の授業について自由に語ってもらう方法を取った。

その結果、小説では登場人物の心理や情景描写の理解に焦点が当てられ、説明文では本文の構成や論理展開、筆者の主張に焦点が当てられることが分かった。これらは学習指導要領に記された項目でもあり、高校受験で求められる国語力でもある。また、本文導入や本文理解のために駆使される質問は、キーワードに関する身近な生活場面や巷の流行、そして家族などであった。教師は共通して「生徒に実感させる」ことを重視している。

次に、外国人・日本人生徒への事前調査も行なった。こちらの調査は6名の生徒（漢字圏、非漢字圏、日本人の生徒男女各1名）を対象に、外国人生徒の場合は通訳を交えながら、調査対象者に文章理解を進めてもらう方法を取った。題材は国語教科書から小説と説明文を各1編選んだ。その結果、サッカーのワールドカップをよく知らなかったり、国道を理解できなかったりしたことで文章理解に差が見られた。ワールドカップは国による人気スポーツの違い、国道はインフラ整備の違いなどに起因すると思われる。

以上、2つの事前調査から見えることは、教師は読解に際して生徒が既に持っている知

識や経験などを手掛かりに本文の内容理解を促すが、外国人生徒は、持っている知識や経験などが必ずしも日本人生徒と同様ではないということである。

では、この点がどのように読解の障壁になるのか。まず、次節で本研究に関わる先行研究を概観する。

2. 先行研究

読解と背景知識に関する研究は、英語圏における EFL および ESL を対象にしたものが多い。たとえば、Langer, J. A. & Nicolich, M.(1981)では高校の最上級生を対象に 事前知識が本文の 1 節を思い出すのに効果があることを実証しており、Johnson, P. (1982)では英語を第二言語とする大学レベルの学生にハロウィーンを題材として調査を行い、背景知識が本文の 1 節の理解を助けると報告している。また、Levine, M.G. & Haus, G.J.(1985)ではスペイン語を第二言語とする高校生にスペイン語の野球の試合の記事を読ませることで、野球に関する背景知識の差が読解に影響するかどうかを検証している。そのほか、Nassaji, H.(2002)のように、スキーマ理論と構築・統合モデルにおける知識活用の方法を論じたものなどもある。

一方、国内における読解と背景知識の研究は EFL を対象にしたものでしばしば見受けられる。Nitta, K. (1997)では大学生の英語読解の教材作成における背景知識の重要性が述べられており、Eidswick, J. (2010)では大学 2 年生中級レベルの英語学習者への調査結果から、説明文理解の際に興味、関心および事前知識が影響することを明らかにしている。

他方、JSL を対象にしたものでは、岡崎(2004)のなかで、教科学習における読解作業にスキーマの有効性が指摘されているが、読解と背景知識の関係を直接的に述べている研究は見当たらない。ちなみに国語教育では、佐藤(1996)において、小学生を対象にした認知心理学からのアプローチのなかで読解に既有知識が関与することが触れられている。

なお、上述で紹介した先行研究の中で使われている事前知識、背景知識、既有知識は、本稿における背景知識に相当する。

3. 調査の概要

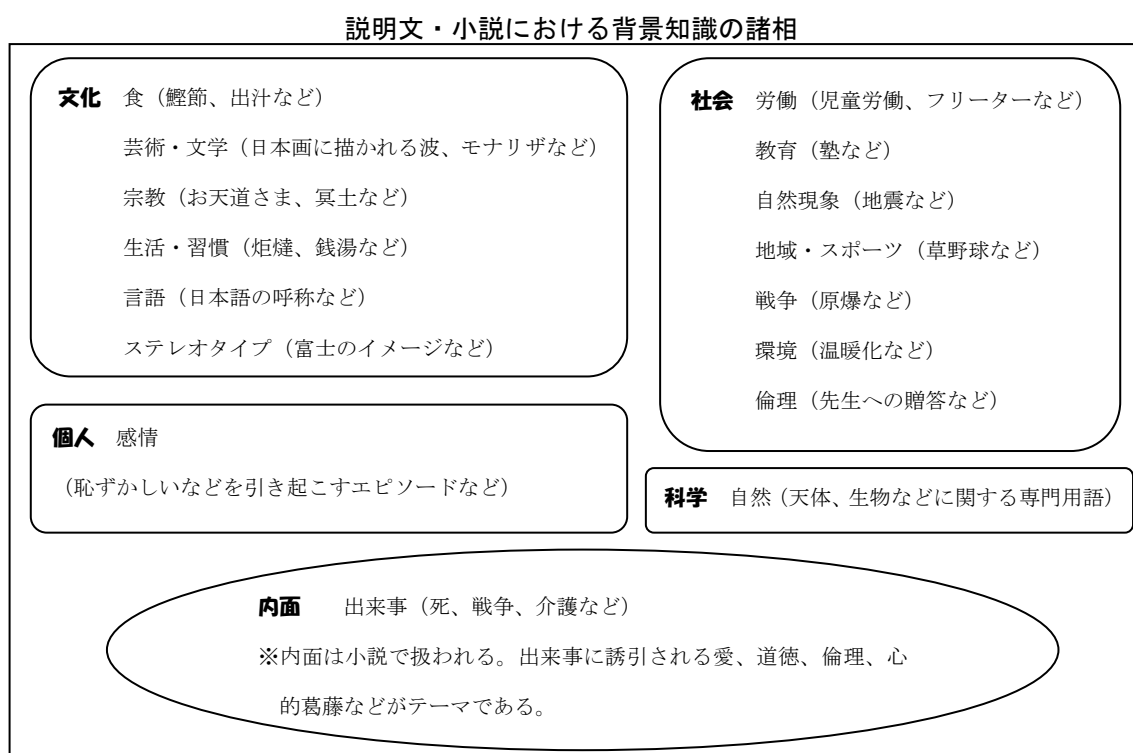
3.1 質問項目の規準

調査全体のうち、背景知識に関わるものは、筆記の選択問題で 3 項目、インタビュー形式で 15 項目行った。各項目は、中学国語教科書の小説、説明文の本文読解に必要とされる背景知識のうち、外国人生徒と日本人生徒に、その知識やイメージ、価値観に違いが見られる可能性があるかどうかで選定した。手順は以下のとおりである。

対象教科書：光村図書『国語』、教育出版『伝え合う言葉 中学国語』、東京書籍『新しい国語』、三省堂『中学生の国語』の中学 1 年～ 3 年

①各教科書の小説、説明文をテーマの共通性で分類

- ②各文章で導入の話題になりそうな背景知識を想定
 - ③各文章のキーワードのうち、日本人生徒と解釈に違いがありそうなものを抽出
 - ④①の分類に基づき、②③を整理
 - ⑤④を規準に、各出版社の中学2年の教科書の本文から調査項目を選定
→中学2年に限ったのは、調査対象者が中学2年だからである。
- 整理した結果を以下に図示する。



説明文はテーマに関連する専門的な語が並ぶ。説明文は文章中に説明があったり写真があったりするの、そうした補助的な説明がなく、かつ、外国人生徒と日本人生徒で日常生活において違いがみられる可能性があるものに焦点を当てた。一方、小説は出来事を通して、登場人物の心理的移り変わりや心的葛藤などが問われるので、それらを読み解くための背景知識の違いにより注意を払った。

以上の手順で、インタビュー調査に 15 の質問を設定した。質問の①②③⑤⑥⑦⑧⑨⑬は文化、④⑩⑪⑫⑭は社会、⑮は内面に関わる。

3.2 調査の対象

調査はある公立中学校に通う中学2年生18名に行なった。内訳は次のとおりである。

第一言語は生徒の自己申告による。国籍は4カ国だが、来日時期と第一言語から今回の調査対象となる生徒の使用言語は日本語と中国語の2言語といえる。また本稿の背景知識

に関する違いは家庭環境によるところも大きいと考えられるが、内訳に家庭に関する項目がない理由は個人情報保護の観点から聞き取り調査ができなかったことによる。

調査対象者一覧

	性別	つながる国	来日時期	家庭内言語	第一言語
C1	女	中国	2010.1	中国語	中国語
C2	男	中国	2011.8	中国語	中国語
C3	男	中国	2011.2	中国語	中国語
C4	男	中国	2010.2	中国語	中国語
C5	女	中国	2010.1	中国語	中国語
C6	女	中国	2010.6	中国語	中国語
C7	女	中国	2010.6	中国語	中国語
C8	女	中国	2011.6	中国語	中国語
C9	男	中国	2011.2	中国語	中国語
C10	男	中国	2007.7	中国語	中国語
C11	男	中国	2012.8	中国語	中国語
JF1	男	フィリピン	日本生まれ	日本語	日本語
JF2	女	韓国	3歳	日／韓	日本語
JF3	女	台湾／日本	日本生まれ	日本語	日本語
J1	男	日本	日本生まれ	日本語	日本語
J2	男	日本	日本生まれ	日本語	日本語
J3	男	日本	日本生まれ	日本語	日本語
J4	男	日本	日本生まれ	日本語	日本語

※J：日本人生徒、JF：外国籍で第一言語が日本語の生徒、C：中国人生徒

4. 筆記に関する調査内容と結果および考察

4.1 調査内容

筆記3問：文脈に意味決定を依存する、または文脈を追うために重要な表現・語彙に関する質問を行なった。以下に紹介する。

①部活の朝の練習で…2年生：「おはよう。ちょっとそこのボール、拾って。」

1年生：「オッス」このときの「オッス」の意味はどれですか。

- 1 () おはようございます
- 2 () はい、わかりました
- 3 () ^き聞 こえません

②おばあさんは公園で遊んでいる孫を目を細めて見ていた。

このときの「目を細めて見ていた」の意味はどれですか。

- 1 () こま^みって見ていた
- 2 () かわい^{おも}いと思^みって見ていた
- 3 () 目^めが悪^{わる}いので、そのような目^めで見ていた

③きのう、有名なJリーガーに会った。「Jリーガー」はどれですか。

- 1 () サッカー選手 2 () 歌手 3 () 俳優

4.2 調査結果

①

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	FJ1	FJ2	FJ3	J1	J2	J3	J4	正
1			✓						✓		✓								
2	✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3																			

②

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	FJ1	FJ2	FJ3	J1	J2	J3	J4	正
1							✓									✓			
2		✓		✓	✓				✓	✓	✓		✓	✓	✓				✓
3	✓		✓					✓				✓					✓	✓	

③

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	FJ1	FJ2	FJ3	J1	J2	J3	J4	正
1							✓									✓			
2		✓		✓	✓				✓	✓	✓		✓	✓	✓				✓
3	✓		✓					✓				✓					✓	✓	

4.3 考察

設問①で中国人生徒3名が「おはようございます」を選んでいる理由は、日常の学校生活において日本人男子生徒が友人やクラスメートに会ったときに使う挨拶として耳にしていたからだと推測される。了解の意味で使われる「オッス」は部活などを経験していないと耳にする機会があまりなく、回答に影響が出たと思われる。

設問②は慣用的な表現としての知識がない生徒が1、3を選んでいると考えられる。興味深いのは、日本人生徒4名中3名が誤答で、中国人生徒11人中6名が正答という結果である。中国にも同じ表現があるとのことなので、母語での知識を使って正答を得られたと考えられる。

設問③で5名の中国人生徒が歌手と答えた理由は、Jリーガーの意味を知らないことと、カタカナとアルファベットなのでグループ名と推測したことによると考えられる。日本人生徒および日本生まれの生徒に誤答が見られないのは、Jリーガーという言葉が広く日本社会に浸透しているからだろう。

5 インタビューに関する調査内容と結果および考察

5.1 調査内容

インタビュー15問：日本語で理解できない場合は通訳を介してテーマ・語彙に関するイメージや意味理解を質問した。以下に紹介する質問内容は調査協力者に配付したものであるが、本稿の表を作成する便宜上、小項目とイラストにアルファベット記号を追記した。

- ①a スリッパは何ですか。／b いつはきますか。
- ②a ゲンマンは何ですか。／b ゆびきりゲンマンは何ですか。
- ③a お赤飯を知っていますか。／b いつ食べますか。
- ④野球の試合で使う言葉です。a ベンチ入り／b スタメン／c レギュラーの意味は何ですか。
- ⑤お風呂は何時ごろ入りますか。
- ⑥a 桜のイメージを教えてください。(例：きれい、やさしい、花見)
b 桜の木を近くで見たことがありますか。
- ⑦a 捨て犬のイメージを教えてください。
b どんどころにどんなふうに使われていると思いますか。
- ⑧a 日本の映画を見ますか／b アメリカ映画を見ますか
(どんな映画を見たか。ビデオやインターネットでも可。)
- ⑨a 虫取りをしますか。(したことがありますか。)/b どんなものを何でとりましたか。
- ⑩a 草野球／b フットサルをしたことがありますか。(言葉を知らないときは説明)
- ⑪a エコカー／b エコ家電は何ですか。
c あなたは環境問題のために何をしていますか。(出なかったら、ゴミの分別や電気を消すなど具体的に聞く。)
- ⑫a 塾ではどんな勉強をしますか。／b 塾に行く必要性はあると思いますか。
c 模試を受けたことがありますか。／d 模試は大切でしょうか。
- ⑬「漁師」のイメージを教えてください。
→イラストを別途プリントにして生徒に漁師のイメージのイラストに○をしてもらう。



(a)



(b)



(c)



(d)



(e)



(f)



(g)



(h)



(i)



(j)

- ⑭フリーターをどう思いますか。(言葉がわからないときは、「30歳ぐらいで、アルバイトで生活している人」と具体的に聞く。注：「大人なのに」「ちゃんと働かない」などマイナスイメージで誘導しないようにする。)
- ⑮a あなたはおじいさんやおばあさんと一緒に住んでいますか。
b あなたの国ではお祖父さんやお祖母さんと一緒に住むのは普通ですか。(外国人生徒の母国で一般的に多いのが、同居か、別居か、老人ホームかを知りたいので。)
c あなたの国では、お祖父さんやお祖母さんが病気になったとき、お世話するのは家族ですか、または、病院(老人ホーム)にお願いしますか。

注：ここで、「家族と一緒にだとさびしくないよね。でも病院（ホーム）だと安心だよ
ね。」と両方のいい所を敢えて紹介してから聞いてください。

d あなたは家族がお世話するのと、病院（ホーム）にお願いするのとどちらがいいと
思いますか。

5.2 調査結果

○：正答および肯定（「そう思う」と回答したもの）

△：日本語がわからず通訳したのちの正答、肯定

×：誤答および否定（「そう思わない」と回答したもの）

？：生徒が判断できず、またはその概念がよくわからず、「わからない」と回答したもの

無：生徒から回答を得られなかったもの

空欄：前の質問の回答によって、問う必要がなかったもの

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	FJ1	FJ2	FJ3	J1	J2	J3	J4
1a	○	?	?	?	?	○	?	?	?	○	?	○	○	○	○	○	○	○
b	学					家						家	ト	家	家	室	室	学
2a	?	?	?	×	○	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	×	?	?
b	?					?	?	?	?	?	?	○	?	○	○	○	○	○
3a	△	○	?	?	○	△	△	△	?	○	△	○	○	○	○	○	○	○
b	×	×			×	×	○	×		×	?	○	○	○	○	?	○	○
4a	?	?	?	×	?	×	?	?	×	×	?	?	×	×	?	○	×	○
b	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	○	?	×	○	○	×	○
c	?	?	?	?	?	?	?	?	?	×	?	×	○	×	×	○	○	×
5	6,7	8	9	8	9	9	8	6	9	7	9	6	9	10	5	7	8	9
6b	○	○	○	○	○	無	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8a	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○
b	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
9a	×	×	×	×	×	△	△	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○
10a	×	×	?	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×
b	?	?	?	?	×	×	×	△	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×
11a	?	?	?	?	?	?	?	△	?	?	○	○	○	○	○	○	○	○
b	?	?	?	?	?	?	?	△	?	?	○	○	○	○	○	○	○	○
12b	○	×	△	×	×	○	?	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
c	○	×	×	×	×	×	?	○	×	×	○	×	○	×	×	○	?	×
d	○	○	?	○	○	○	?	○	○	?	○	○	○	○	○	○		○
13a	◎							○	○			○	○	○	○			○
b												○			○	○		
c								○	○			○	○	○	○	◎		○
d	○		○			○		○	○	○		◎	○	○	○		○	○
e												○		○				
f		○					○	○	◎		○	○	○	◎	◎	○	○	○
g												○			○			
h				○				◎				○						
i	○							○	○			○	○	○	○		○	
j												○			○			○
15a	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×		×	×	×	×	×	×	×
b	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	両
c	家	家	病	家	家	家	混	家	両	両	家	家	家	病	家	木	家	両
d	木	病	病	病	家	家	家	家	家	病	家	病	病	家	家	家	家	病

※1 の家は家、学は学校、室は室内および建物、トはトイレを指す。

※5 の入浴時間は午後の時間帯を示し、30分単位は切り捨てとした。

※13 の◎は漁師イメージに一番合うものとして生徒が選んだもの。

※15 の家は家族、病は病院、ホは老人ホーム、両はその両方、混は在宅ヘルパーを指す。

※斜体になっている回答は調査者の誘導による回答の可能性が高い。

回答がコメント形式のもの(⑥a⑦ab⑨b⑪c ⑫a⑭)は省略し、考察でまとめて扱う。

5.3 考察

- ①本文では家の室内履きとして登場するが、家で履く習慣は日本でも薄れている傾向があるようだ。ただ中国人生徒にはスリッパがわからないと回答した生徒も複数いる。日本人には自明の物でも本文理解のためには確認が必要と思われる。
- ②日本人および日本生まれの生徒はゆびきりゲンマンは理解できるが、ゲンマンのみでは理解できないと回答している。本文では後者で登場する。また、中国人生徒はどちらもわからないと回答している。「ゆびきり」から「爪切り」を連想して回答した中国人生徒もいた。この結果は、ゲンマンが日本文化に根ざしていることに起因すると考えられる。
- ③お赤飯自体は目にしたことがある中国人生徒も多いが、祝い事で食されるという日本の食文化の理解までには至っていない。ただ、日本人でもいつ食するかわからないと答えている生徒が一人いる。お赤飯の意味合いは日本でも変化している可能性もある。
- ④どの語も試合に関わるスポーツ用語である。国による理解の差はあまり見られないが、多少日本人や日本生まれの生徒のほうに正答が多く、その語自体は今までに耳にしているようである。
- ⑤入浴の時間帯には差が見られなかった。
- ⑥桜のイメージもほぼ同じだったが、中国人の生徒には恋、散るといった叙情的な回答もあった。桜に思いを馳せながら染色の説明をする本文からすると、中国人生徒の叙情性は本文理解に有効かもしれない。
- ⑦捨て犬のイメージもほぼ同じだったが、中国人の生徒の中には、捨て犬が山中や人がいない所に捨てられるイメージを思い浮かべたり、わからないと答えたりした生徒もいたため、本文のダンボール箱に捨てられた犬の描写には実感が湧かない可能性がある。
- ⑧映画についても回答に差は見られないが、中国人生徒はほとんどインターネットで映画を見るため、日本の映画館に行ったことがないと思われる。本文は映画の話題なので興行施設は関係がないが、映画館に行った経験がないことには留意したい。
- ⑨虫取りの経験は日本人と日本生まれの生徒にはあるが、中国人生徒にはほとんどない。虫取り(昆虫採集)の話題は全出版社共通で中学1年の教科書に登場するヘルマン・ヘッセの作品のほか、日本人著者の作品にも登場する。中国人生徒には虫取りの様子などを少し丁寧に説明する必要があるだろう。

- ⑩草野球とフットサル（特にフットサル）はやるかやらないかにかかわらず、中国人生徒には野球、サッカーとの違いがあまり理解できていない。日本の地域社会の活動でよく使われることに起因すると思われる。また、質問を「草野球やフットサルをやったことがあるか」と経験を問うものにしてしまったため、単に野球、サッカーと理解して回答している生徒の有無を明確にできていない。
- ⑪エコカー、エコ家電については日本人および日本生まれの生徒は全員知っていたが、中国人生徒でわかったのは1名であった。また、個人として環境対策を行っているかという問いにも、中国人生徒は「わからない」「環境を維持する」などと回答しており、個人レベルの環境に対する意識に差があることがわかった。
- ⑫塾に関しては中国人生徒の中には日本語の支援教室（ボランティア教室）と誤解するケースが見られた。また日本人や日本生まれの生徒も補習と回答するケースが多く、進学目的と答えたのは日本人生徒、中国人生徒各1名であった。模擬試験は殆どの生徒が大切だと答えたが、中国人生徒は模擬試験を受けた経験を持たない生徒が多く、大切かどうかかわからないと回答した生徒が3名いる。本文では高校受験のための塾通いの大変さが描かれる場面があるが、中国人生徒には塾の意味が実感しにくいかもしれない。
- ⑬本文に漁師だった亡父の思い出の象徴として捻りはちまきに使ったタオルが登場することを意図し、絵を用いて漁師のイメージを聞く設問とした。本文タイトルも「タオル」であり、漁師のイメージにタオルの捻りはちまき姿の漁師が浮かばないと、本文の情景描写や登場人物の心理がつかみにくい。イラストではa、d、iのどれかを選ぶ必要があるが、5名の生徒がこの3つのうちのどのイラストも選んでいない。5名の中に1人日本人がいることにも注目したい。日本でも漁師のイメージが変わりつつある可能性がある。また、日本人生徒は1人も○をつけていないe、hに関して、eは日本生まれのフィリピン人、韓国人の生徒が○をし、hは日本生まれのフィリピン人と中国人の生徒1名が○をしている点にも注目したい。こうしたイメージの違いを共有する必要があるだろう。
- ⑭フリーターに対するイメージを整理すると以下になる。
- ・承認（いいんじゃない）5名（日本人1、日本生まれ2、中国人2）
 - ・批判的（もっと何かするべき）5名（日本人2、日本生まれ1、中国人2）
 - ・諦念（勉強しなかったからしかたがない）3名（中国人3）
 - ・無関心（どうでもいい）4名（日本人1、中国人3）
 - ・回答なし1名（中国人1）
- 回答から見ると、日本人や日本生まれの生徒は承認または批判的なコメントが多く、フリーターを身近に感じているようである。一方、中国人生徒は無関心、諦念が多く他人事といった感がある。この差の要因は一概に決められないが、本文ではフリーターのような登場人物が実は深い人生観で生きていることを主人公が理解していく過程が描かれているので、この主人公の心理の移り変わりは実感しにくいかもしれない。

⑮祖父母の介護問題や高齢者の支援に関する話題（死を見つめることも含め）は国語の教科書に限らず、問題集などにも読解の題材としてしばしば登場する。中学2年という年齢の生徒はどのように捉えているのか。

- ・祖父母との同居について（J4を除く）

日本人および日本生まれの生徒は全員別居しているにもかかわらず、国では一般的に同居すると回答している。中国人生徒は同居と別居で分かれるが、やはり全員国では一般的に同居すると回答している。

- ・祖父母の介護について（J4を除く）

日本人および日本生まれの生徒は、個人的には回答がまちまちだが、ほとんど一般的には家族と回答している。中国人生徒も同様である。

- ・J4の回答

J4は祖父母と別居し、介護は病院がいいと回答。同居と介護に関する一般的な場合についてはどちらもいろいろだと回答している。

本来は、個人的見解は別として、一般的な場合についての回答はJ4のような回答になるのが自然と思われる。なぜ、ほかの生徒は一般的な場合を家族とするのだろうか。

中国人生徒に関しては、本国では親族関係の結びつきが大きい地域出身で現在日本在住のため自分は別居と回答していることも考えられる。

しかし、日本は核家族という形態が定着している社会であるから周囲に同居が多いという可能性は低いだろう。（実際この調査の日本人生徒、日本生まれの生徒は全員別居している。）にもかかわらず一般的に同居すると回答する理由については本調査からの推測は難しい。また、本文で取り上げられるこのような話題は、その状況を理解したうえで、自分なりに考えてみる、また登場人物の逡巡とした思いを想像してみるといった点に目的があるので、理由の追求は本研究の目的ではない。この設問で本研究として得られた結果は、祖父母との同居や介護に対する価値観や考え方に差はないということである。

6 まとめ

4.3、5.3でそれぞれの設問について考察を述べたが、ここでは「質問項目の規準」で取り上げた項目に準じて整理し、中国人生徒の背景知識の問題を考えていく。

全体の傾向として文化的な事柄に違いが多く見られ、次いで社会、内面が多い。その一方で、個人や科学はあまり違いが見られない。社会や内面は文化と重なる要素も多く、背景知識の違いは主に文化差からくるものと考えられる。なお、以下の記述で、番号の前に“筆”とあるものは、筆記での設問番号である。

- ・文化－生活・習慣：筆①と①②⑤⑨、文化－食：③

筆①オッス、①スリッパ、②指切りゲンマン、③お赤飯は、日本人が習慣としてきた事柄と考えられ、中国人生徒には「わからない」と答える生徒が多かった。また⑨虫取

りは日本人および日本生まれの生徒に拒否感はなかったが、中国人生徒には虫というものに拒否感が強い生徒が多かった。日本独特の習慣と思える事柄には説明の必要性があり、また同じ習慣があってもそれに対してイメージの違いがある可能性も常に考慮する必要があるといえる。⑤の入浴時間に違いが見られないことから、一日の生活パターンには変わりがない可能性が示唆できる。

・文化ー芸術、筆②と文学⑥⑧

筆②“目を細める”で中国人生徒のほうに正答が多いのは、文章に触れる機会が日本人生徒より多いことを示唆していると考えられる。また、⑥桜のイメージをステレオタイプとしなかった理由は、桜のイメージを持つきっかけが文学作品や映画、広告といったところにあると考えたからである。⑧映画とともに、この項目での違いはあまり見られなかった。中国人生徒が映画をほとんどインターネットで見ているが、そうした媒体を介して共通のイメージや経験を持てる分野かもしれない。

・文化ーステレオタイプ⑦⑬

⑦捨て犬はあまりイメージに違いがない。テレビで見たという生徒もいて、これもまたメディアの発達によってある程度共通認識となっているのかもしれない。⑬漁師のイメージでは、2タイプ(d, f) がかなり共有されているが、共有されないイメージを持つ生徒もいる。職業に関わる服飾なども文化差の影響が出る可能性があるといえるかもしれない。

・社会ー地域・スポーツ筆③④⑩、社会ー環境⑪、社会ー教育⑫、社会ー労働⑭、内面ー⑮

筆③サッカー用語、④野球用語、⑩草野球とフットサル、⑪エコカー、エコ家電、環境対策、⑫塾と模擬試験、⑭フリーター、⑮家族の介護という一見様々な観点を一括りにしたが、これらの共通項は社会通念や社会的話題性に影響を受けるということである。生徒たちの回答は、当該社会の持つ通念や話題性が意見に影響する可能性を示唆している。例えば環境問題に関する回答の差は、出身国社会における意識の度合いを反映している可能性が考えられる。また、フリーターに対する日本人および日本生まれの生徒と中国人生徒の捉え方の違いは、それぞれの国の社会通念の違いに起因する可能性もある。本調査はその捉え方を明らかにすることは趣旨ではないが、背景知識に影響する要因として今後明らかにされることが望まれる。

以上が今回の調査から明らかになった内容である。この結果を踏まえ、さらなる追跡調査が必要であろうが、生徒の読解に背景知識の差が影響する可能性は指摘できたと考える。

7 今後の課題

今後は質的アプローチとして、実際の読解にこうした背景知識が影響して、問われてい

る課題に解答できないケースがあるかどうかを確かめなければならない。また影響があることが明らかになった場合には、どのような事柄で読解に違いが生まれるかをより深く検証し、傾向を示す必要がある。その際には、石黒(2013)で試みられている背景知識に対するアプローチとの連動も有効と考える。そうした研究を進めるなかで、従来の読解が日本文化や日本の社会通念などに影響されていることが認識され、読解力測定に、多文化を意識した問いかけの必要性が意識されることの重要性を今後さらに明らかにしていきたい。

参考文献

- 石黒圭 (2013) 『『やさしい日本語』と文章の理解：背景知識の重要性』庵功雄・イ・ヨンスク・森 篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか』ココ出版
- 岡崎敏雄(2004)「外国人年少者日本語読解研究方法論：原理論」『文藝言語研究 言語編』40, pp.29-46
- 佐藤公治(1996)『認知心理学からみた読みの世界 対話と協同的学習をめざしてー』北大路書房
- 中尾桂子・森下淳也(2001)「年少者中級日本語教育における読解スキル指導のための小学校教科書の文章構成の解析」『国際文化学』4,pp.133-151
- Eidswick, E. (2010). Interest and Prior Knowledge in Second Language Reading Comprehension. *JALT Journal* 32,No.2. pp.149-168
- Johnson, P. (1982). Effects on Reading Comprehension of Building Background Knowledge. *TESOL Quarterly*, 16, pp.503-516.
- Langer, J.A. & Nicolich, M. (1981). Prior knowledge and its relationship to comprehension. *Journal of Reading Behavior*, 13, pp.373-379.
- Levine, M.G. & Haus, G. J. (1985).The Effect Of Background Knowledge On The Reading Comprehension Of Second Language Learners. *Foreign Language Annals*, 18, pp.391-397.
- Nassaji, H. (2002). Schema Theory and Knowledge-Based Processes in Second Language Reading Comprehension: A Need for Alternative Perspectives. *Language Learning*, 52, pp.439-481.
- Nitta, K. (1997). Effectiveness of experimental hand-made material for improving English reading ability of lower-level students. *Memoirs of the School of Biology-Oriented Science and Technology of Kinki University* 2, pp.129-141

付記

本稿は、2012～2014 年度科学研究費補助金基盤研究(C)「日本語を母語としない外国人生徒の読解力を育成するための基礎的研究」(研究代表者：五味政信)の研究成果の一部である。